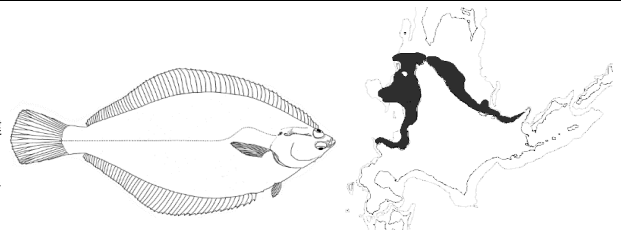


13. マガレイ

主な漁業と漁期
 オホーツク海：刺し網、底建網、沖合底びき網：5～12月
 日本海：刺し網、沖合底びき網：9～翌6月



石狩湾以北日本海
 ～オホーツク海海域

生態

◆分布・回遊

石狩湾からオホーツク海にかけて分布します。石狩湾、苫前沖から利尻・礼文島周辺で産み出された卵及び仔稚魚の多くはオホーツク海へ移送され、未成魚期をオホーツク海で過ごした後、成熟の進行に伴い日本海へ回遊しますが、一生を日本海で過ごす群も存在します。

◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は4～6月です。
- ◎産卵場は石狩湾、苫前沖から利尻・礼文島周辺海域の水深40～60mに形成されます。

◆成長・成熟

オホーツク海を成育場とする群 (7月時点)

	全長(cm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
1歳	10	10	13	10
2歳	16	16	48	57
3歳	21	21	92	119
4歳	24	24	135	175
5歳	26	27	172	219

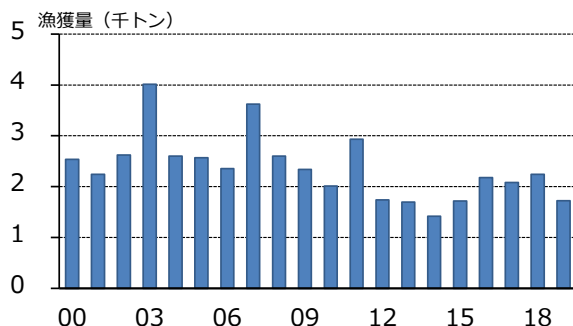
*) 2003～2007年の調査船調査の標本より
 *) 加齢の基準日：7月1日
 ※一生を日本海で過ごす群の成長は、道総研水産研究本部の資源評価書をご参照ください。

- ◎成熟年齢（オホーツク海を成育場とする群）
 - ・オス：1歳から成熟する個体がみられます。
 - ・メス：2歳から成熟する個体がみられます。

※一生を日本海で過ごす群の成熟については、道総研水産研究本部の資源評価書をご参照ください。

資源評価

[評価年] 7月～翌6月
 [資源量の指標] 3歳以上の資源重量
 漁獲量は2015年度以降増加傾向でしたが、2019年度の漁獲量は1,725トンで前年から減少しました。資源重量は2012年度以降6,000トンを下回っています。2019年度の資源水準は低水準、翌年にかけての動向は横ばいと判断されました。近年、加入が低い年が連続していますが、漁獲努力量は減少傾向にあり、漁獲係数は低い水準にあります。加入の動向を注視しながら、漁獲努力量を過度に増加させないことが重要です。



2019年度の水準 低水準

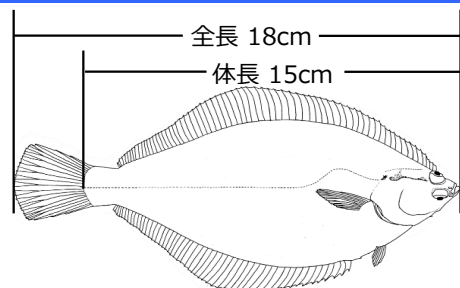
2020年度の動向 横ばい

※道総研が受託している国の資源評価調査のデータも利用して評価しています。

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

- 資源管理協定(2019年3月更新)
 - 関係漁業者間で体長15cm又は全長18cm未満の未成魚保護を目的とする漁場移動や海中還元(底建網)を定めています。
- その他
 - 漁業権行使規則等で操業期間、漁具の制限等を定めています。



☆加入が低い年が連続しています。加入動向を注視するとともに、現状の漁獲努力量を過度に増加させないことが重要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
 北海道立総合研究機構 中央水産試験場資源管理部

電話 011-204-5477
 電話 0135-23-8707